

青春つまった情熱ライブ

ステージ上で青春の曲を演奏する演奏者



団塊の世代を中心としたメンバーが熱い演奏を繰り広げる。おやじたちのコンサート」が11月23日、市文化センターで開催。演奏者は青春のサウンドを披露し、来場者を魅了しました。

懐かしのメロディー楽しむ

演奏者は「夜空のトランペット」や「学生街の喫茶店」など、青春時代を謳歌した曲を熱唱。約550人の来場者は、メロディーを口ずさみ手拍子を打つなどして懐かしのメロディーを楽しみました。ラテン調にアレンジを加えた「マリと殿様」などを披露した「スターダスターズ」のメンバーの木本洋志さんは「これをきっかけに老若男女問わず、みんなで音楽を楽しめるメンバーが増えてくれたら」と話しました。

「1日1円」愛の貯金箱

高齢者福祉基金に107万967円

市老人クラブ連合会の会員が1年かけてためた「愛の貯金箱」の開封作業が11月9日、老人憩いの家「八寿園」で行われました。

今年で30回目となる愛の貯金は、正月のおせち料理が買えない家庭の支援をきっかけに開始。会員宅約3700世帯に貯金箱を配布し「1日1円」を合言葉に買い物の釣り銭などをためました。

広間に集まった同連合会

の三役ほか、役員、女性部長ら80人が、5グループに分かれ、貯金箱を次々と開封。紙幣や硬貨の仕分け作業に追われました。硬貨ごとに袋詰めにして、市内7つの郵便局で集計した合計金額は、107万967円。今回集まった全額は市に寄付されます。

同連合会会長の平井昭夫さんは「会員の協力により続いてきた事業。会員を増やし、善意の輪を広げたい」と話しました。



貯金箱を開封し、仕分け作業をする女性会員

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

プラカードや横断幕を掲げて行進する参加者



犯罪のないまちに

有都小学校地区周辺でパレード

増加する犯罪を地域ぐるみで防ぐ「安全・安心のまちづくりパレード」が11月23日、有都小学校地区周辺で開催。参加者は、沿道の歩行者や地域住民に犯罪のないまちづくりをアピールしました。

市内6地区に分けて毎年行われるパレードも今年で2巡目となり、八幡市自治連合会が主催。市民の防犯意識の向上などを目的に毎年開催しています。出発前の記念行事で、同連

合会会長の上原嘉昭さんが「八幡のまちは八幡市民の手で守ることで防犯・防災に強いまちになる」と宣言。「安全・安心のまちづくり」に貢献された6人と1団体を表彰しました。

パレードは、パトカーや京都府警察平安騎馬隊を先頭に約550人が参加。黄色の防犯ベストなどを着用した参加者は「悪質商法に用心」「犯罪のない八幡」などと書かれたプラカードを掲げ、地区内



着物姿でお点前披露

松花堂 学生茶会

高校生が、お点前を披露し一般客をもてなす「松花堂学生茶会」が11月14日、松花堂美術館別館で行われました。参加した学生は「一期一会」の心で一般客約120人をもてなしました。

同茶会は国文祭プレ事業で、次世代を担う学生に、伝統文化である茶道への理解を深めてもらおうと開催。京都八幡高校から参加した有志の学生と久御山高校茶道部員20人は、この日まで茶せんの扱い方や、

茶わんの差し出し方など、茶道の基本動作を市文化協会茶道部会の指導を受け、繰り返し練習しました。

着物姿の学生が一般客を見事なお点前でおもてなし。一般客は茶の香りを楽しみ、茶器を鑑賞するなど、茶の湯の世界を楽しみました。

小学生のときから茶道を習っているという京都八幡高校2年生の狩野綾弓さんは「緊張しましたが、お点前で精いっぱい感謝の気持ちを込めました」と話しました。



一般客に抹茶を振る舞う高校生